

1 情報教育に関するアンケート調査

(1) 調査の目的

情報教育を学校全体で推進していくためには、情報教育に関する教職員の意識と指導力を高める必要があり、校内研修の充実が不可欠である。情報教育推進のための校内研修にかかわる現状分析と課題を明らかにする目的で、アンケート調査を実施した。回答者の状況・勤務校の状況・児童生徒に身に付けさせたい力・回答者のパソコン技能・教職員として身に付けたい力・校内研修についての項目で分類し、質問紙調査（30問）で行った。

(2) 対象

研究協力校	39名
センター講座受講者	87名
合計	126名

アンケート調査実施期日
平成13年11月15日(木)
～平成13年11月30日(金)

(3) 調査結果の要約

ア 回答者の状況（設問1～4）

本研究の対象が小・中学校が中心であることもあり、小学校（69％）中学校（28.5％）その他（2.5％）の割合となっている。

イ 勤務校の状況（設問5～6）

ほぼ全ての学校がパソコン室からインターネットへの接続が可能な状況にあるが、自機からの接続は18％に満たない状況にある。また、「自校のインターネット接続先を知らない」が約34.5％であるのが気にかかる点である。

ウ 児童生徒に身に付けさせたい力（設問7～9）

設問8・9については優先順の回答なので、1位を3、2位を2、3位を1として加重した値で考慮した（以降同様）。児童生徒に今後、最も必要とされる力は「情報を正しく判断・批判できる力（63％）」が圧倒的に高く、ホームページで情報を検索・収集し、ワープロソフトでまとめ、プレゼンテーションソフトを使用した発表ができる力が望まれている。

エ 回答者のパソコン技能（設問10～13）

パソコンが「操作できる（約86％）」「指導できる（約66％）」、「インターネットを利用して授業をした（約48％）」となっている。操作できない主な理由は、「時間がない」「難しい」が多く、「身近にパソコンが無い」は0％だった。ただ、「機器・施設の設備が不十分」の回答もあり、学校のパソコンを自分が使いたい時間に使えるかは疑問が残る。

オ 教職員として身に付けたい力（設問14～19）

「ワープロソフトによる文書作成」「ホームページの検索・閲覧」「電子メールのやりとり」については、既に一定レベルまで技術を習得していると思われ、ニーズは低い。

児童生徒に身に付けさせたい力と同様、「ホームページの作成と発信」「プレゼンテーションソフトによる発表」の他、「表計算ソフトによる計算・グラフ作成」のニーズが高い。技術の習得場所については、今までは「独学（約57%）」が多かったが、今後は「校内研修」でのニーズが最も高かった。

カ 校内研修（設問20～30）

情報教育の校内研修については、年に約2.3回、1回につき約2時間程度、パソコン室で自作テキストを使い、情報教育担当者が策定・実施し、特別な評価は行っていないという回答が多かった。校内研修の課題としては、「個人差に応じた内容」「授業での活用につながる内容」「実施回数」等が多かった。

キ まとめ

記述式の意見には、課題別講座の実施や習熟度別の研修を望む声があった。様々なレベルに応じた多様な内容の研修を実現するためには、従来の一斉型研修では限界があるが、情報教育のための研修時間にも限りがある。限られた制約の中で、個に応じた研修を、より効果的に行う方法の1つとして、校内研修用WBTの活用が考えられる。学校として教育の情報化を推進するためにも、児童生徒に情報活用能力を育成する授業を展開するために、教職員がいつでも、どこでも、自分のスキルに合った内容を手軽に学習できるような研修体制が望まれる。

(4) 各設問の集計

回答総数 126 名

1 勤務校の校種はどれですか。

小学校	87
中学校	36
高等学校	1
盲・聾・養護学校	2

2 性別はどちらですか。

男	58
女	68

3 年代は次のどれですか。

20代	41
30代	24
40代	46
50代	15

4 担当教科（小学校の場合は得意とする教科）は何ですか。

国語	19	社会（地歴、公民）	19	算数・数学	21
理科	12	音楽	11	図工・美術	4
その他芸術	0	体育・保健体育	16	家庭	0
技術	2	英語	6	農業	0
工業	0	商業	0	水産	0
看護	0	その他（事務 1 養護教諭 2）			

5 勤務校のインターネットへの接続状況について。

京都みらいネットに加入	40
他のプロバイダに加入	14
未接続	3
分からない	30

6 学校内での教材研究等でインターネットに接続できるパソコンは身近にありますか。

職員室の自機	15
職員室の専用機（1台）	26
職員室の専用機（複数台）	20
パソコン室のみ	24

7 児童生徒がこれからの情報社会で生きていく上で、最も必要とされる力は何だと思いますか。1つあげてください。

情報を正しく判断・批判できる力	79
情報手段を活用するための知識や技能	19
情報を収集し、処理・加工できる力	11
情報を積極的に表現・発信できる力	10
情報発信に対する責任感・倫理観	6

8 授業の中で児童生徒にどのような場面でコンピュータを使用させたいですか。優先度の高い順に3つあげてください。

	優先度 計（1 2 3位）	優先度 で加重
ホームページによる情報収集	107（69 17 21）	262
学習のまとめと学級内発表	79（25 40 14）	169
学校外の人々との意見交流	64（16 23 25）	119
学習の成果をホームページで発信	49（4 25 20）	82
絵やグラフの作成	38（6 13 19）	63
実験結果等のデータ処理	23（4 3 16）	34
感想文等の印刷物作成	14（2 4 8）	22

9 コンピュータの操作技術のうち、どのような技術を児童生徒に付けたいですか。優先度の高い順に3つあげてください。

	優先度			優先度 で加重
	計	(1	2 3位)	
ワープロソフトによる文書作成	84	(57	17 10)	215
ホームページの検索・閲覧	85	(31	33 21)	180
プレゼンテーションソフトによる発表	57	(12	16 29)	97
電子メールのやりとり	48	(2	21 25)	73
表計算ソフトによる計算・グラフ作成	35	(5	23 7)	68
お絵かきソフトによる図形作成	26	(13	5 8)	57
ホームページの作成・発信	21	(3	6 12)	33
データベースの活用	16	(2	3 11)	23

10 パソコンを操作できますか。(操作できるとは、2つ以上のソフトを使用できることを意味します。)

できる	107
できない	17

11 と答えた方は、その主な理由を3つあげてください。

難しい	12
時間がない	11
教えてもらう人がいない	6
機器・施設の整備が不十分	5
必要性を感じない	5
ワープロ等他の方法でできる	2
身近にない	0
その他(操作時間が少なく定着しない)	1

12 児童生徒にパソコンを利用させる指導ができますか。

できる	81
できない	42

13 インターネットを利用した授業を行ったことがありますか。

ある	59
ない	64

14 教員として、指導上必要とされる力は何だと思えますか。1つあげてください。

情報手段を活用するための知識や技能	44
情報を正しく判断・批判できる力	33
情報を収集し、処理・加工できる力	20
情報発信に対する責任感・倫理観	14
情報を積極的に表現・発信できる力	11

15 授業等の準備のために、コンピュータをどのように使用したいと思えますか。優先度の高い順に3つあげてください。

	優先度 計 (1 2 3 位)	優先度 で加重
ワープロソフトによる教材プリント作成	95 (62 19 14)	238
インターネットを使った教材調べ	109 (35 48 26)	227
プレゼンテーションソフトやホームページによる教材作成	76 (14 30 32)	134
採点集計等の成績処理	79 (11 24 44)	125

16 次のコンピュータの操作技術のうち、あなたが一応操作できると思う技術はどれですか。該当項目に を付けてください。

ワープロソフトによる文書作成	117
ホームページの検索・閲覧	104
電子メールのやりとり	94
計算ソフトによる計算・グラフ作成	72
図形や写真の作成・加工	63
プレゼンテーションソフトによる発表	49
ホームページの作成と発信	19
データベースの活用	18

17 これらの技術を主にどこで習得されましたか。1つあげてください。

独学	68
同僚からの個別指導	28
校内研修	10
民間のパソコン教室	6
センター研修	2
インターネット上での研修	0
その他 (大学 4 上司からの個別指導 2)	6

18 次のコンピュータの操作技術のうち、あなたがこれから身に付けたいと思っている技術はどれですか。優先度の高い順に4つあげてください。

	優先度				優先度で 4,3,2,1加重	
	計	(1)	(2)	(3)		(4)
ホームページの作成と発信	92	(37)	(26)	(19)	(10)	274
表計算ソフトによる計算・グラフ作成	75	(30)	(21)	(14)	(10)	221
プレゼンテーションソフトによる発表	80	(24)	(19)	(25)	(12)	215
図形や写真の作成・加工	74	(8)	(24)	(24)	(18)	170
データベースの活用	79	(8)	(18)	(21)	(32)	160
ワープロソフトによる文書作成	17	(12)	(1)	(0)	(4)	55
ホームページの検索・閲覧	21	(3)	(8)	(4)	(6)	50
電子メールのやりとり	23	(2)	(5)	(6)	(10)	45
その他(画像処理、スキャナ、デジカメ、ビジュアル・ベーシック、イントラネットなど)	6	(0)	(0)	(3)	(3)	9

19 今後、これらの技術を主にどこで習得したいですか。1つあげてください。

校内研修	46
センター研修	36
独学	19
同僚からの個別指導	18
民間のパソコン教室	4
インターネット上での研修	0
その他(友人)	2

20 年間指導計画に基づく校内研修(全教科・領域)の開催回数(割合)はどれぐらいですか。

月1回	39			
月2回	23			
週1回	6			
その他(学期に1回	2か月に1回	学期に2回	年に1、2回	月3回等)
	13			

21 情報教育に関する校内研修は年に何回行われますか。

1回	25
2回	19
3回	16
4回以上	15

22 情報教育に関する校内研修の所要時間はどれくらいですか。

授業日等 1回につき

約2時間	30
約1時間	22
3時間以上	0

長期休業中 1回につき

約2時間	25
約3時間	18
4時間以上	15
約1時間	7

23 情報教育に関する校内研修のテーマについて、どのようなネーミングをされたものが多いですか。2つあげてください。

ソフトウェア・スキル(ソフト利用技能)	60
授業での使い方の名前が付いたもの	32
校務名が付いたもの	20
教科名が付いたもの	11

24 情報教育に関する校内研修で、課題と思われる点は何ですか。4つあげてください。

個人差に応じた内容	84
授業での活用につながる内容	69
実施回数	68
研修の所要時間	56
授業実践事例の紹介	51
個別指導の実施	49
復習の機会の充実	45
研修テキストの内容	18
研修での指導方法	17
その他(教師支援システムの活用のしかた 自分で習ったことを反復練習時間)	2

25 情報教育に関する校内研修の講師は主に誰ですか。

校内の教職員	59
外部講師	11
情報教育アドバイザー	8

26 情報教育に関する校内研修のテキストは主に何を使っていますか。

自作	44
使わない	26
市販本	8

27 情報教育に関する校内研修実施場所はどこですか。

パソコン室	77
職員室	2

28 情報教育に関する研修内容の策定者（原案作成者）は誰ですか。

情報教育担当	56
教務主任	8
研究主任	6
研修実施者	5
その他（事務室と教務部等）	4

29 情報教育に関する校内研修で研修結果に対する評価を行っていますか。

行っていない	52
参加者の意見（感想）を集約する	17
参加者が評価アンケートに記入する	4
管理職・研究主任等が何らかの評価を行う	4
その他（教頭）	1

30 情報教育に関する校内研修について、何か意見があればお書きください。

主な意見は、次のとおりである。

- ・習熟度にばらつきのある大規模校では技量にあわせこまめな研修体制が望まれます。
- ・すべての教職員に対応できるようにレベル別研修ができるとよいと思います。
- ・職員が誰でも使えるように課題別講座を開いて技能を上げていくとよいと思われる。
- ・できないものに特に積極的に行うべき。
- ・ベテランの先生の意識改革！
- ・校内で研修してもらえれば、とてもありがたい。
- ・積極的に自由参加で行って欲しい。
- ・十分な時間がとれない。
- ・長期休業中以外は、その時間がなかなかとれない。
- ・回数が必要だと思う。
- ・学年研修などの日常的な研修の充実が情報教育の研修には大事だと思われる。
- ・来年度はぜひ年間計画に入れて欲しいと思っています。
- ・専門家にもっと来て欲しい。